

# ▽ 町連協だより

第 8 号  
 平成 13 年 3 月 1 日  
 ◆発行◆  
 千歳市町内会  
 連絡協議会  
 千歳市総合福祉センター  
 TEL(0123) 27-2525

◆印刷◆  
 道央プリント  
 千歳市青葉6丁目1-8  
 TEL(0123) 23-5535

## 「明るく、楽しいふれあいの ある町内活動を考える」

### 平成十二年度町内会役員等 研修会開催される

平成十二年度町内会役員等研修会が平成十二年十一月十一日開催されました。各町内会の役員等が一同に会し、日頃の町内活動の実践結果を持ちより、貴重な意見を提起しながら各町内会が抱える課題の解決に熱心な討議を展開しました。

今年の研修会は、昨年度に引き続き共通テーマを「明るく、楽しいふれあいのある町内会活動を考える」と設定、さらに主題に迫るため部会独自で分科会ごとにテーマを設けました。

★第一分科会(総務部会)  
 ①「各町内会において役員を選出方法はどのようにして



るか」と言うテーマで意見交換がされました。役員の内任期は大半が二年が多く、中にはやはり役員のみならず手がなく再任が五期以上の町内会があり、

とくに、総務、婦人部、青少年部長の交代期には選出に苦労している事が浮きぼりにされました。②「町内会費はいくら徴収しているか」では一月三〇〇円と言うのが全体の七十%であり会館の新改築の積立金の一〇〇円を上乗せして四〇〇円としている町内会も数カ所ありました。

③「町内会の活性化のための諸事業計画」ではどの町内会でもやはり少子高齢化の進んでいる状況の中で、子供の行事を組みにくく、祖父母ぐるみの行事を組むしかなく、高齢者主体の事業計画へと移行している実態も何う事が出来ました。総体的に、各町内会共、諸事業計画に何を盛り込んだら参加者の拡大につながるのか、模索している事が判りました。

★第二分科会「青少年部会」  
 「青少年を町内会活動に如何に参加させるか」について討



議しました。やはり青少年に魅力ある行事の選定が必要であり、ラジオ体操や、夏のキャンプ等の参加者が減少しておりマンネリ化の傾向があると言う意見も多くありました。

又参加する大きな理由として①物が貰える(景品目当て)②お金が貰える等の見返りの要求があり、今後の計画立案に工夫が必要である事を伺われました。総括的に要約すると参加させるための対策として、子供達の意見を組み入れたものにする、近隣 町会と合同とする等、これからの青少年行事に対しては、一つの切り角に来ている事が考えさせられました。

「家族の健康について」をテーマに助言者(保健婦)のOHPを使用しながら、わかりやすく市民、特に女性をターゲットに「健康状態の現状」を説明し、普段私達は健康を意識しないで過しているが、身内が亡くなった時だけ真剣に考えるのではなく、一人一人の健康は自らが常に心掛ける事が大切であり「健康は人生の目的ではなく、豊かで明るく生きて行くための手段の一つで大切な資源である」ことを踏まえて毎日を過してほしいとの教訓をもとに有意義な討議を終了しました。



★第三分科会(婦人部)  
 「家族の健康について」をテーマに助言者(保健婦)のOHPを使用しながら、わかりやすく市民、特に女性をターゲットに「健康状態の現

# 町内会のご紹介

## ● 緑香る・やすらぎの街

おさつ団地町内会

会長 三 溝 邦 雄

昭和の終わりに「緑香る・やすらぎの街」として、おさつ駅前土地区画整理事業が始まり、当初三日に一戸位の割合で新築し、移り住んで参りました。

こうして自然の中から自然



昭和の終わりに「緑香る・やすらぎの街」として、おさつ駅前土地区画整理事業が始まり、当初三日に一戸位の割合で新築し、移り住んで参りました。この時、会員九十五世帯でしたが現在は、七八五世帯へと発展をみるに至り、ここに創立十周年の意義ある節目の年を迎え、また今年は西暦二〇〇〇年の大きな節目にも当たり、二重の慶びとするものであります。

本年一月十四日十周年式典を催しました。顧みますと、この地域は優良農地でありましたが時代の流れにより開発されたのであります。失われたものは珍しい美しい小鳥やキジの姿はみることが出来なくなりました。当町内会の特徴は各戸建築・緑化協定を結びシンボルツリーの植樹やパランスのとれた建築をし良好な環境を維持している事です。又、特殊なゴミステーション

(ポイスター)七十二台・二〇〇W防犯灯一二一基の設置をしている事です。

会員が親和協力して各事業を推進し、地域生活環境の整備向上と福祉の増進を図る事を目的として頑張っております。春には町内大掃除とお花見親睦会、夏には七夕、夏祭り・秋には子供御輿、婦人部のぶどう狩り等、老人クラブ



では毎週集ろうと言う事で七曜会として活動、火曜日はカラオケ愛好会、月曜日はダン



スサークル等が活動しています。さらに資源回収等、皆で頑張っております。

十周年を機会に、今後未永く、住み良い、安心して暮らせる、親しい近所づきあいのある街づくりを目指し、活気ある緑豊かな「おさつ団地町内会」となるように、皆様方のお力添えをお願いし、会員相互のネットワークが保たれ、善隣協力の輪が一層広がる事を祈年申し上げ、なお楽しい町内会であり続けようという健康保安林へ小鳥を呼び戻そうと頑張っているところです。

## ● 融和とふれあいのある活動を大切に

北栄南町内会

会長 佐々木 信 雄

町内会地域には、北栄小・北進小中・千高の三校があり、中心市街地にも近く利便性にも恵まれています。凡そ二十年の歳月を経て漸次宅地化された地域だけに、貸家・賃貸マンションやアパートが多く、持家四割、流動性世帯六

割という現況で、連帯協力量識が薄く会費納入・回覧等の伝達・ゴミや資源の排出・迷惑駐車等大変苦慮しています。こんな中、学校との連携を計りながら会員相互の融和とふれあいのある活動を重点に、少子高齢化時代に対応する活





動を模索しながら取組んでいます。その中で紙面の都合上三つの活動を紹介します。昭和五十二年から連続二十四回市民夏まつり納涼盆踊り大会に参加していますが、平成十年に浴衣六十着を新調更新して毎年六十名規模で参加しています。

十一年度は二度目の商店街連合会理事長賞、十二年度は商工会議所会頭賞と連続上位入賞を果たし、士気益々高まっています。この行事には千高校長を初め教職員と家族、小

中学校、教員や町内会行事に参加機会の少ない若年層等幅広く三十名近くが参加し、踊り手裏方八十名による慰労懇親会は十二時過ぎまで大盛況で、親睦交流を深める絶好の行事となっております。

婦人部は、親睦交流婦人の集い、保健講習・料理講習・友愛セール・盆踊り・敬老会等・中広く活動しています。特に親睦交流婦人の集いには、幼児や小学生から高齢者まで会館いっぱいの大盛況で、食事やゲーム等を楽しみながら和気あいあいと世代間交流を広めております。

又友愛セールは、北進小・中学校親の会と合同で年に三回実施し、コーヒー・甘酒・おしるこ等をサーブスして、会員のみならず近隣町内からも多数訪れ、皆さんから大変喜ばれています。

老人部会は、市有地約六二〇平方米を借地し、会員相互のふれあいと生き甲斐づくりのため、ふれあい花菜園を作っています。芋・大根・豆・小豆等を作っていますが、芋植え・芋掘りには北進小・中学校の児童生徒を招き、校長

初め教職員を含め全員で体験し、収穫後は学校で芋煮会食をして交流を深めています。

又、学校の運動会や学芸会には十数名で見学応援し、ノート一冊づつ配布して子供達を激励しています。



この交流活動を十一年間続け、校長が代わっても学校の恒例行事として定着しています。

これからも、高齢者が急速に増え続ける中、向こう三軒両隣のふれあいを基本に、町内会全体のふれあいの輪を広げて参りたいと考えてます。

## 町内会の現状と活動状況

末広東町内会

会長 川崎善教

末広東町内会は昭和三十三年に当時の末広地区の人口増加に伴う住宅地確保のための地域変更に伴い、一丁目から三丁目まで末広東町内会、四丁目から六丁目まで末広中区町内会、七、八丁目を末広西町内会として発足したのです。

以来住み良い町内会づくりを目指し、役員並びに会員の皆さんが活躍しています。現在も末広三町内会が、持ち回りで合同子供盆踊り大会を実施しています。特に年度事業として重視しているのは、子供会及び福祉の活動であります。

毎年九月の祝祭日を利用し、野外懇親会、ミニ運動会を実施しています。運動会の内容は、お年寄りから小学生まで参加できる種目を役員会で選び個人と団体競技を行います。老若男女は我を忘れ、勝敗に歓喜します。その後、懇親会の準備の間を利用し、市消防署より支援をいただき、各種

家庭用消化器の使用法を参加者全員で見学、実際に体験しました。やがて懇親会の準備万端整い、野外ジンギスカンパーティが始まり、程よく飲んで食べ、運動会の反省やら会員相互の親睦は広がります。

当町内会は過去「福祉コミュニティ推進モデル地区」指定を受け、活動・実践した





経緯があつてか、地域連帯にあふれた潤いある街づくりとか、近隣住民による高齢者の支援活動が大切ではの気運が盛り上がっていました。

そんな平成十一年度社協・町連協が主唱する「小地域ネットワーク推進事業」への取組みを開始しました。その二年次目も終ろうとする現在、定期的ではありませんが高齢者への声掛けや訪問活動。また交流活動して七十歳以上の方を対象とした、年三回の誕生会、ふれあい一日旅行、暮れには一人暮らしの方を招いての三世代交流餅つき会等を実施し、それなりの目的を達



して来ました。加えて高齢者世帯等への除雪支援もしています。

一方、町内有志の方々が、手作りパークゴルフコースを設け、会員に開放しふれあい、憩いの場として喜ばれました。また、町内会館を利用しているストレッチ体操を楽しむ方々や、麻雀同好会の活動など、老若男女を問わない独自の集まりの場が、徐々にあります。拡がりを見せて来ましたが、そうした場でのふれあい、情報の交換が、福祉委員や民生委員の目となつて、注目しているところではあります。

## 新世紀の門出 各町内会の活躍を祈念

### 「町内会長等新年交礼会」開催される

新世紀を迎えた平成十三年一月二十日 町内会長等新年交礼会が開催されました。

千歳市長代理及び各来賓出席のもと、宮尾町連協会長より町連協に対する日頃の各町内会のご協力に感謝し、今後新世紀事業に対しての更なるご理解ご支援をお願い致したとの挨拶があり、続いて来賓を代表して市長代理開発市民環境部長の祝辞を頂戴し、

矢島社会福祉協議会会長の音



### 道町連共済ですすめる住みよいまちづくり

#### 見舞金の内容

種類	支給額
死亡見舞金 A	2,000,000円
死亡見舞金 B	100,000円
後遺障害見舞金	限度額2,000,000円
入院	入院日数1日につき1,500円
通院	通院日数1日につき1,000円
軽傷事故	一律5,000円
医師の証明料	一事務5,000円を限度に実費支給

安心して活動に参加いただくために道町連共済は、町内会・自治会などの町内会活動中に事故にあわれたとき、見舞金を支給する会員相互の助けあい制度です。

年二百円の会費で最高二百万円の見舞金を支給します。加入はいつでも受け付けています。



それが新世紀を迎えての新たな意気込みを胸に和気あいあいに歓談し、新春の一ときを過しました。

最後に民生委員児童委員連絡協議会小城会長の乾杯の音頭で新世紀の門出にふさわしい町内会長等新年交礼会を終了しました。

#### 編集後記

例年にならない積雪、寒波等厳しい冬でしたが、春の足音も少しづつ遠くから聞こえてくるような気配です。各町内会も年度末を迎えて何かとご多忙の時期だと思えます。

新世紀初年度を目の前にして、皆様決意も新たに諸事業計画に取組んでおられる事と存じますが、町連協だよりも編集委員一同ようやく一つの軌道を見つけたような気がしております。

これからも一層の紙面充実にも努力致す覚悟ですので皆様よりの益々のご意見、ご指導を心よりお願い申し上げます。後記と致します。

#### 編集委員

- 鳴海二郎 水野敏和
- 旗山裕之 高橋英三
- 蔭 唯男 毛利敏雄
- 伊藤栄太郎

★事務局 豊満昌治